

地形図

(国土地理院)発行の地形図は、地表にあるものの位置・高さ・形などを計測し、規則に従って縮めて表したものです。

↓
その縮める割合を(縮尺)という。

○ 5万分の1 ... $1\text{cm} = 50000\text{cm} = (500)\text{m} = \underline{0.5\text{km}}$

○ 2万5千分の1 ... $1\text{cm} = 25000\text{cm} = (250)\text{m} = \underline{0.25\text{km}}$

<問題> ○ 2万5千分の1の地図上において2cmのときは、実際の距離は何mになるか？

$2\text{cm} \times 25000 = 50000\text{cm} = 500\text{m}$ (500 m)

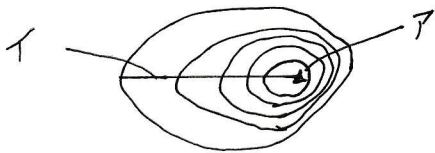
○ 2万5千分の1の地図上において、10cmのときは実際の距離は何kmになるか？

$10\text{cm} \times 25000 = 250000\text{cm} = 2500\text{m} = 2.5\text{km}$ (2.5 km)

○ 5万分の1の地形図で地図上の10cmの実際の距離は何kmか？

$10\text{cm} \times 50000 = 500000\text{cm} = 5000\text{m} = 5\text{km}$ (5 km)

海面からの高さが等しい地点を結んだ線を(等高線)という。
等高線の間隔がせまいほど傾斜が(急)である。



図のアイの斜面は、急なのは(ア)。

地図記号

